



「救急の日」記念講演会 9/5

9月9日の「救急の日」にちなんだ記念講演会が町公民館で開かれ、町民ら約400人が参加しました。町立静内病院の小松院長が「心臓のお話～あなたの大切な人を守るネットワーク～」をテーマに、心臓病や循環器疾患などについて講演し、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、講演後は日高中部消防組合による緊急時の応急処置法の実演なども行われ、参加者は、救急医療や救急活動への知識を深めました。



吉鷹奈津子サロンコンサート 8/30

『吉鷹奈津子サロンコンサート』が町公民館で開かれ、多くのクラシックファンが訪れました。コンサートは、コーヒータイムもあるサロン風で、アットホームな雰囲気の中、町サポート大使でピアニストの吉鷹奈津子さんがショパンやベートーヴェン、モーツァルトなどのクラシックを披露し、来場者の耳を楽しませました。吉鷹さんは平成20年から町サポート大使を務め、新ひだか町での演奏会は今回で9回目となります。



第6回ふくしトピア 8/25

福祉のお祭りイベント『第6回新ひだか町ふくしトピア』が町公民館で開かれ、多くの家族連れなどにぎわいました。会場には、綿あめや輪投げが楽しめる「子ども縁日」や福祉啓発コーナーなどが設けられました。また、大道芸「クラウン・キョロ」の古新聞を使ったジャグリングなどの「エコロジーパフォーマンスショー」も行われ、来場者は楽しみながら、福祉に対する理解を深めました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



第2回二十間道路ハーフマラソン大会 第37回シベチャリマラソン大会 9/9

『第2回二十間道路ハーフマラソン大会』が静内川右岸スケートリンクを発着点に開かれ、町内外から男女220人が出場しました。ランナーは、強い雨が降る悪天候の中、沿道からの大きな拍手と声援を受け、二十間道路桜並木のコースを力走しました。また同日開催された『第37回シベチャリマラソン大会』では、小学生から一般まで195人が出場し、1.5～10kmのコースで男女年齢別にタイムを競い合いました。



農婚塾 i n 新ひだか 8/31~9/2

町内の独身農業後継者と、女性の出会いを応援する交流ツアー「農婚塾 i n 新ひだか」が町内で開かれました。農婚塾は、町内の農業後継者の「婚活」を支援しようと、町や農協などでつくる町農業振興対策協議会が初めて企画しました。札幌や東京など町外から参加した女性10名と地元の男性12名は、ミニトマトなどの収穫体験や男女のグループによるカレーライス作りコンテスト、野外バーベキューなどを通して、交流を深めました。



科学であそぼ おもしろ実験室 8/25

北海道電力株式会社と町教育委員会による「科学あそぼ『おもしろ実験室』 i n 新ひだか」が町公民館で開かれ、町内の小学生13名が参加しました。「マクスウェルのコマ」をテーマに、さまざまな形のコマを使って実験を行いながら、回転運動について学んだあと、長く回るのが特徴的な「マクスウェルのコマ」を作りました。参加した子どもたちは、実験や工作を通して、楽しみながら科学への興味を高めました。



町民ギャラリー企画展講演会 8/20

静内郷土館による町民ギャラリー企画展講演会「昭和30年水害 あの日、あの時の天気図を読む」がピュアプラザで開かれ、約30名が参加しました。室蘭地方気象台の田中定夫気象予報官が講師を務め、日高地方に大きな被害をもたらした「昭和30年水害」について、当時の天気図を使いながら、大雨を降らせた前線の動きを説明しました。参加者は熱心に耳を傾け、大雨などの気象災害について理解を深めながら、防災意識を高めました。



三石浄化センター一般公開 9/9

9月10日の「下水道の日」にちなみ、三石浄化センターの一般公開を行いました。訪れた家族連れなどは、施設見学やパネル展を通して、下水道への理解を深めました。



夏休み子ども作品展 9/8~9

『夏休み子ども作品展』が町福祉センターで開かれ、町内の小中学生が夏休みに作成した図画や工作、自由研究など165点の個性あふれる作品が展示され、来場者の目を楽しませました。



全日高剣道少年団選手権大会 9/2

『第22回全日高剣道スポーツ少年団選手権大会』が静内体育館で開かれ、小学生から高校生まで約130人が出場し、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。



輝け！カラオケ夢舞台 9/2

町教育委員会による「輝け！カラオケ夢舞台」が町公民館で開かれ、会場に詰めかけた360人の観衆が声援を送る中、42名が自慢のノドを披露しました。